

○議長（古畑浩一君）

日程第2、一般質問を行います。

昨日に引き続き、通告順に発言を許します。

阿部裕和議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。〔13番 阿部裕和君登壇〕

○13番（阿部裕和君）

みらい創造クラブ、阿部裕和でございます。

発言通告書に基づき、一般質問をいたします。

1、「縮充」の具体化と市政運営の方向性について。

(1) 公約に掲げられた「縮充」の施策について。

① 「縮めながら選択・充実していくもの」と「選択の中で妥協していくもの」とありますが、具体的にどの分野を指すのか、その選定の判断基準について伺います。

② 医療・教育・インフラの縮充とあるが、「縮めるもの」「充実させるもの」「妥協していくもの」それぞれの対象は何か伺います。

(2) 「糸魚川3地域の強みを生かす」ための施策について。

① 新幹線をはじめとした鉄路を活用したにぎわい創出や、交流人口拡大に向け、どのような施策を展開するのか伺います。

② 美山周辺の再開発について、お考えを伺います。

③ 塩漬け状態の施設の最適化を図っていくとのことですが「塩漬け状態の施設」とは何を指し、どのように最適化するお考えなのか、構想を伺います。

④ 能生地域において、力士育成と交流の場を提供する新施設の設置案がありますが、その構想について伺います。

⑤ 親不知や、ピアパークを中心とした観光資源の充実とありますが、ハード面及びソフト面で、どのような内容を検討しているのか伺います。

⑥ 青海地域において、産業のまちとしての機能充実とありますが、どのような機能を充実させるのか伺います。

(3) 重点施策について。

① 医療・福祉を守るための人材確保へのお考え、取組について伺います。

② 保育園の民営化及び適正配置、さらには学校再編及び教育環境の整備について、市長のお考えと具体的な取組方針を伺います。

③ 経済活性化へ向けた取組について伺います。

④ 地域の特徴を生かした、交流人口増加への取組について伺います。

⑤ 防災の観点から「火の見櫓展望施設」設置を掲げられていますが、具体的にどのような構想なのか伺います。

(4) （仮称）駅北子育て支援複合施設の建設見直しについて。

- ① 建設見直しを公約に掲げ市長選に当選された経緯を踏まえ、今後の方向性や具体的な代替案の有無について伺います。
- ② 再検討に当たり、市民ニーズの把握はどのようにして行い、施策に反映させていくのか伺います。

以上、1回目の質問です。よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

おはようございます。

阿部議員のご質問にお答えいたします。

1点目につきましては、人口減少・少子高齢化による縮小という現実をしっかりと受け止める中で、既存の事業の評価を行い、市民生活に必要な事業については充実を図る必要があると考えております。

また、地域医療の維持は、安心して住み続けるために欠くことのできないことであり、病院や市医師会と連携し、本市に必要な医療体制を確保してまいります。

学校の在り方につきましては、子供たちの学びや成長を第一に考え、子供たちにとってよりよい教育環境となるよう進めてまいります。

2点目の1つ目につきましては、新幹線駅が存在する強みを生かしつつ、周辺観光地との連携を図りながら、雪月花やラッピング列車など、鉄道を観光コンテンツの一つとして捉え、誘客拡大に努めてまいります。

また、ターミナル駅の機能として、駅周辺観光の充実や二次交通の確保を図ってまいります。

2つ目につきましては、美山公園のポテンシャルを生かし、人が集うための機能面の再開発を進め、にぎわいを創出してまいります。

3つ目につきましては、長期未利用の状態にある公共施設については、民間等への売却や貸付などを進めてまいります。

4つ目につきましては、施設の構想について、関係団体と意見交換してまいります。

5つ目につきましては、ピアパーク施設の計画的な更新やイベントの充実などにより、全国的にも知名度のある親不知の活用を図ってまいります。

6つ目につきましては、地域経済の基盤を支える重要な機能として、企業における既存事業の発展や新たな取組への支援等、経済活動の推進、充実を図ってまいります。

3点目の1つ目につきましては、医療・福祉の提供を支える人材の確保は重点課題であると捉えており、引き続き、学生への修学支援や小・中学校での出前講座などに取り組むとともに、より効果的な施策を検討し、人材確保に努めてまいります。

なお、医師確保につきましては、新たな寄附講座の活用を検討してまいります。

2つ目につきましては、昨年度定めた「保育園等の適正配置と民営化に関する方針」に基づき、取り組んでまいります。

また、学校再編については、子供たちの教育環境がよりよくなるような学校の在り方の構想案を

検討する中で、今後の方針を示してまいります。

3つ目につきましては、水産物や農産物などのブラッシュアップや観光と連携するなど、地域資源を活用して経済循環を図ってまいります。

また、若い世代が地元定着できる環境整備を進めてまいります。

4つ目につきましては、豊かな自然や歴史・文化、食など各地域の特色や人のつながりを生かしたブランディングと魅力発信を推進することにより、交流人口から関係人口へ発展させたいと考えております。

5つ目につきましては、駅北大火からの復興のシンボルとしてイメージしたところであります。

4点目の1つ目につきましては、現計画での建物建設は中止し、計画地の利活用案を再検討してまいります。

2つ目につきましては、私自身地域の代表者や各地域に入って、市民の皆様と懇談する中で市民ニーズの把握に努めてまいります。議員の皆様からも幅広く市民の声を集約していただきたいと考えております。

以上、ご質問にお答えしましたが、再度の質問によりましては所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

久保田市長が掲げる縮充という考え方は、私も同意します。非常に重要であると思います。これから人口増を目指す取組というのでも継続してやっていかなきゃいけない中でも、10年後を見据えた、人口3万人という数字を見据えた糸魚川というところで考えていかなきゃいけないというのは本当に重要なことで、そのイメージをしながら市政運営はしていかなきゃいけないと思うんですけども、その中で、縮めるものというものが何なのか。充実させていくものは何なのかというものを、それぞれ具体的にお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

縮めるもの、充実させるもの、妥協していくものという部分の表現ではありますが、縮めるものというのは、主体的に縮めるものということで、現時点では縮めるものについてはいろんな、市民、そしてまた議員の皆様と対話をしながら考えていかなければいけないと思っております。

ただ、縮まるもの、これは当然、少子高齢化・人口減少というものは確実に参ってまいりますので、縮まるものについて、いろんな部分で、その中で充実させるものが出てくるだろう。具体的に言えば公共サービスを一つの例として捉えたい。

そして、妥協していくものについては、限られた予算があるわけがございますので、二者選択、また、二つのものをどちらを取るのかという部分での提案をしながら、妥協していけるものは妥協

していかなきゃならんだろうというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

妥協していくものについてもお聞きしたかったんですけども、今ほど縮めるものと充実させていくものというのはこれからだということだったんですけども、4年前にも久保田市長、手を挙げられて、その間いろんなイメージをされたと思うんです。ここで発言するのはなかなか難しいかもしれないんですけども、もっと踏み込んだお話聞きたいと思うんですけども、妥協していくものに関して、要は言葉を換えるなら諦める、要はやめるということなのかなというふうにも捉えられますし、今やってる事業を廃止するということにもつながるかなと思うんですけども、今までの経緯の中で、これはやめんならんというの、もしあれば、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

まず、今回4月24日から、私の市政運営が始まったということ。そこから、すぐに議員の皆様と、まず意見交換をさせていただきました、18名の皆様と。その中で出てきたものが何点かあります。そしてその後、各部・課と重点説明を受けました。その中で、令和7年度予算についての状況は、把握させていただきました。その中の議論、検討として、妥協しなきゃならんものは、幾つか出てまいりました。

ただ、それは細かく何日間かけてやったもんですから、今この場では細かな部分は申し上げられませんけれども、そういう部分はきちっと自分の中で捉えて、これから令和8年度に向けての部分も提案という形になるかと思えます。基本的に皆様がお認めになった令和7年度事業については、そんなにいじれるものではないというふうに考えておりますので、それについては、また議員の皆さんと改めて意見交換をしていくという部分もあろうかと思えます。よろしいでしょうか。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

令和8年度予算にそれが表れてくるんだろうというふうに思っておりますので、注視していきたいと思えます。

（3）の重点施策について伺います。

①のところで、本当に医療・介護の人材が不足している状況であります。特に介護人材というところでは、ある法人では、法人立ち上げ以来、初めて新卒者の社員がいなかったということです。

こうしたことは、本当に法人立ち上げ以来なかった、三十数年なかったんだということだったんですけれども、今現在でも、市として様々な支援策、人材確保に向けた支援策というのをやってるんですけれども、なかなか効果がないというところがあるんだろうなというふうに捉えています。今、市長答弁でもありましたけど、人材確保に向けてというところで、新たな取組として、何かお考えありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

新たな取組としては、新たな取組とご理解していただければいいんですけども、やっぱりこれは営業交渉活動だと思います。やっぱりその人材を輩出してくれる大学なり、専門学校なり、直接やっぱり出向いて行って状況を確認しながら、その中で糸魚川市への人材を確保してくるという部分の営業、もしくは交渉活動だと思いますので、それについては足しげく通っていきたく。

また、医療人材については、もう既に5月から自分なりに動いておりますけども、なかなか固有名詞的な部分はまだ出せる状況ではありませんので、それについてはご容赦していただきたい。

ただ、もう動きは既につくりながら、各担当課との今後の推移、また交渉事について、理解をしながら進めていきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

今のご答弁だと、例えば介護福祉の専門学校に営業に行って、糸魚川市にぜひというようなイメージなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

まず、基本的には対面をして、話をやっぱり自分の意見、思いを伝えていくというのが大事だし、相手先の可能な部分も提案をしていただくという部分の対話が必要だと思いますので、基本的にはそういう、実際にお会いしながら話を進めていくということがまず第一と考えております。その際には、担当の課から事前に話をさせていただいて、アポイントを取るなりしていくということが必要だと思います。

また、そういう有利な有益な情報が、議員の皆さんにあれば、そういう部分もお聞きしながら、そういうところに出向いていくというのも一つの手かと思えます。ぜひそういう情報交換は、皆さんとしていかなければいけないなと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

大学なり専門学校に市長自ら、また、担当課と一緒にであったり、対面してしっかり営業に行くというふうに受け止めさせていただきます。

やっぱり介護人材に限ってではないんですけども、医療もなんですけども、本当に介護は特になんですけど、所得が少な過ぎるというのが課題だと思います。市としても、本当に全力でやられてると思います。その介護福祉士になるまでの支援というのは十分なんですけども、いざなつて、生活していくというのは、本当に困難な職業だというふうに捉えています。そうなったときに、やっぱり介護士を目指す人がいない。特に若い人が入ってこないというのが今回の開設、立ち上げ以来、誰も来ないというような状況を生んでるんだろうな、人口減というのもありますけど、そういう状況になっているんだろうなというふうに思っております。

先日の利根川議員のご答弁でも、市として介護士の処遇改善や施設に対しての支援について、国に緊急要望してきたというお話ありましたが、人口減であったり高齢化率が高い糸魚川市というのは、ある意味、そういった意味では先進地だと思います。その先進地である糸魚川市が、先頭に立って旗振り役をして、ほかの自治体を巻き込んで大きな要望にしていきたいと思っておりますが、市長いかがですか、これからどういうことをやられていきますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

今どういうふうということありますけども、私自身、過去何年間か遡っていろんな地域に出向きました。一つの例としましては、岐阜県の飛騨市というところに出向いて行って、その飛騨市のやっぱり先進的な取組については勉強してまいりました。やはり飛騨市が今、小学校等に作業療法士を入れて対応しているとかという部分で、まず、学校にそういう専門的な人材を入れることによって、非常に次なる展開が楽になってくる。そういう先進地の取組も1つ伺ってまいりました。ですので、糸魚川市だけで単独で動くのではなくて、そういう関係市町村と情報交換をしながら、また糸魚川らしいそういうものに見据えていくという部分で対応していきたいと思っております。やっぱりいろんな知恵は、内々だけじゃなくて外にそういう情報があると思っておりますので、それを取り入れていきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

介護士は、本当に介護保険の中から給料がもう上限決められるような形になりますので、ぜひとも国に強く要望していただきたいというふうをお願いいたします。

次に、保育園の民営化、適正配置、学校再編のところでお聞きいたします。

保育園の民営化及び適正配置については、今年に入って、各園の保護者に対して説明会を開催されたというふうに思っております。保護者から、そのとき出た意見というものも様々あったかというふうに思います。

私も保護者として、青海地区の説明会に参加してきました。その中で、こども課から、まずは民営化を進めたいというふうなお話があったんですけども、保護者の中では、適正配置、園の取組のほうが反応があったのかなというふうに思っております。その民営化の説明会の中では、民営化及び適正配置となってるんですけど、適正配置の話は、ほぼなかったように捉えております。

今までの一般質問の中でも取り上げてきましたが、未満児保育において、希望する園に通えず自宅から遠い園、また職場からも遠い園であるため、保育園に通わせるのを諦めている方もおられるのが現状であります。現状というか、そういう事案もあるということです。

民営化に関しては、通う園児が確保できなければ民間は運営できないという課題があり、ある程度まとまった園児数を確保していくためには適正配置が必須であるというふうに捉えております。民営化を先に進めるというふうなお話ありましたが、民営化を先行するのではなくて、適正配置と同時に進めていくことでこれが動いていくというふうに考えるのですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

私のこれまでの答弁等の中で、ちょっと言葉足らずな部分があったのかもしれませんが、今現在、民営化のほうが若干先行して進んでいる部分はございますが、決してそちらを早めているということではなくて、適正配置についてもしっかりと進めてまいります。

適正配置につきましては、市内に公立園と私立園と混在している状況がございますことから、市の意向だけで進めることはなかなか難しいといったところもございまして、そういった私立園の皆様とも意見交換、懇談させていただく中で進めさせていただいております。

ただ、民営化につきましては、今、市単独でといいますか、市の意向で進めていける部分がございますので、そちらがちょっと若干、先行しているというところでございますが、両方、民営化と適正配置、しっかりと併せて進めていかなければならないというふうには思っているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

適正配置も、これは関係してくるんですけども、幼稚園の環境整備で、洋式トイレがないとい

うような園も中であって、ぜひとも保護者からは、洋式トイレ入れてくれというお話が出てます。でも、これからそれこそ適正配置をしていく中で、その老朽化したところを直していくんじゃなくて、やっぱり計画的にやっていかなきゃいけないというところで、本当に適正配置というのをしっかりやっていかないと、施設の維持管理もままならない状態になっていくんだらうというふうに捉えております。

青海地域の説明会の中では、保護者から、青海地域においては子供の成長のためにも保育園、幼稚園を1園にして、小学校は1校にしてほしい。中学校はそのまま青海中学校にというような、要は1個ずつみんな子供たちが集まって、そのまま上がっていくようにしていただきたいというようなお話もあったんですけども、これは青海地域に限った、もう保護者説明会に来られた方の意見ではあるんですけども、ほかの園でも説明会、各地区でやられてると思うんですけども、各地区の保護者説明会での意見というのはどのようなものがあったのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

ほかの糸魚川地域ですとか青海地域でも説明会を開催させていただきましたが、民営化ということに関しましては、保護者の中には、やはり公立、私立の違いといったところが、やはりあまり具体的に分かりにくい。そういったところの声も聞かれました。

また一方で、民間の方から運営していただくことによって、柔軟な保育が期待できるといったような、期待する声もあった一方で、またそういった保育サービスが充実することによって、新たな負担増加とかはないのかなといったような、そういったご心配をされる声も聞いたところであります。

適正配置といったところにつきましては、なかなかほかの地域でははっきりとしたようなお声はいただいておりません。やはり青海地域は全て公立ということで、しかも未満児保育と以上児、幼稚園のということで、施設が分かれているといったところで、これまでもご兄弟で、例えば未満児の方と上のお兄ちゃんとかがいるときに2つの園に通わせなきゃいけないといった、そういったご不便のお話もこれまでも聞いておりますので、今後の適正配置というところを考えていく中では、そういったところも考慮していきたいというふうに思っているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

ありがとうございました。

小学校の再編について伺います。

今年度から、小学校の適正配置についても検討を進めるというようなお話あったんですけども、具体的にどのようなところから進めていくのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

小川こども教育課長。〔こども教育課長 小川豊雄君登壇〕

○こども教育課長（小川豊雄君）

お答えさせていただきます。

今年度、学校のあり方検討委員会というのを立ち上げまして、その中で様々な可能性から学校の在り方を検討していくことになっております。その中で、議員おっしゃられてるような地域で1校とかと、そういうことについても検討していくことになるかと思いますが、あくまでまだ検討の段階ということでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

ですのでどういうふうに進めていくのか、どういう段階を踏んでやっていくのかというところをお聞きしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

小川こども教育課長。〔こども教育課長 小川豊雄君登壇〕

○こども教育課長（小川豊雄君）

お答えいたします。

段階といいますと、やはりまず様々な情報を集めまして、それから地域のお声等そういったものを聞いていきながら進めていくというふうにご考えておるところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

ありがとうございます。

久保田市長のホームページの重点施策の具体的取組例に、学校再編について言及されています。これからどういった再編というのをイメージされているのか、お考えを伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

私が担当のほうに、担当の教育委員会のほうに指示したところがございます。

ただ、指示したところが具体的に進むかについては、これからいろんな協議がありますので、それについては、これからの経緯を踏まえて対応していきます。私自身が指示したものは、先ほど阿

部議員がおっしゃられたのと多分同じだと思うんですけども、まず、中学校区はきちっと地域コミュニティを残す上で非常に重要であると。そこに向けて、小学校、そして幼稚園、保育園というものを少しずつ、そこに向けて整えていくという方法を取る。基本的に地域コミュニティを壊しちゃならないという思いがありますので、中学校区をまず基本的に考えて、再編整備計画をしていただきたいという指示はいたしました。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

ありがとうございます。

教育環境の整備について伺います。

各小学校の校外学習の際のバス運用についてであります。今まで様々なテーマを持って、小学生たちが校外学習に出かけていたんですけども、今年度からバスの運用に制限がかかって、校外学習に行けなくなったというふうにお聞きしております。この件に関しては、担当課にも相談して、でも予算の都合上、仕方ないんだというようなお話がありました。現在、組まれている予算では、市から指定された年2回ほどの必須の校外学習しか行けないという予算配分になっておりまして、今まで積極的に行っていた校外学習ができなくなったというふうにお聞きしております。

こういった校外学習は、間違いなく郷土愛の醸成にもつながって、将来の糸魚川にもつながっていく取組であるというふうに思うんですけども、この各学校のスクールバスの配備状況や運転手不足というのもあると思うんです。また生徒の数というのもあるとは思うんですけども、この学校同士のスクールバスの貸し借りであったり、それが正しいのかどうかはあれなんですけれども、そういった可能性、まず、予算がないからやめるといふんじゃなくて、そういった可能性を考えて、何ていうんでしょうかね、やれないと、予算がないからやれないって断言するんじゃなくて、どうやったらやれるかというふうな考え方がすごく重要じゃないかなと思いますし、この件についてはまだまだ検討の余地あると思うんですけども、市長、お考えお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

やっぱり重点説明をお聞きした中で、そういう予算組みになっているということは耳にしました。きちんと聞かせていただきました。その中で、できない理由を行くんじゃなくて、それをどうすればいい形で運用できるのか案を出してくださいというふうに指示はしてございます。これからそういう、どういうふうな形でその案が、限られた予算の中でできるのかについては検討しなければいけないと思いますけれども、それぞれの学校事情をきちっとまずお聞きするというのも大事だと思いますので、私の指示の一つについては、各学校、また学区単位での集会等については、私からお話をしにいく、また、聞きに行くということの場を設営していただきたいという指示も出してあ

りますので、そういう中で耳にしていきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

この件に関しては、1つの小学校じゃなくて市内の複数の学校から出ている声でありますので、ぜひともいろんな課題というのはあると思うんですけども、何ていうんでしょうかね、今、地元を離れる学生が多い中でやっぱりこういう活動が、地元への愛着を湧かせるというのにもつながっていると思いますし、この自分の住んでる地域というのにも理解を深めるきっかけになると思いますが、ぜひとも8年度の予算に反映していただきたいと思っておりますけれども、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

それが、まさに選択と集中と思っておりますので、8年度予算を組む際には、そういう意見の中で調整していければと思っております。よろしく申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

よろしくお願ひいたします。

③の経済活性化に向けた取組について伺います。

糸魚川産業プラットフォームの取組で、緑でつなぐ未来創造会議、通称、3Mという団体があります。この3Mと糸魚川市は、これまでも一緒になって森林をはじめ当市の解決課題に向けて取組を進めております。私も、毎回この会議に参加して、取組を注視しているところでありますが、省エネ住宅推進補助金、当市がやってる省エネ住宅推進補助金については、3Mと糸魚川市が一緒になって、性能基準を定めて策定された制度であり、今年度で3年目となる事業であります。認定基準をつくって、それを制度化した自治体というのは、新潟県内では糸魚川市が初めてであります。

また、糸魚川市の住宅基準、ISSHとして今認定して普及促進を図っております。制度開始から3年目であり、申請は年々増加しておる状況です。今年度は5月末時点で既に5棟の認定と申請中の物件が3棟となっており、この事業の効果は著しいものというふうに捉えております。

令和6年度の市内の木造戸建て住宅の着工数は65棟、そのうち8棟がISSHの認定を受けており、これは全体の12.3%に当たるもので、今後ますます普及が期待されます。

先日の3Mの会議のときに目にした日刊木材新聞の記事に、当市の省エネ住宅推進補助金が今年度で終わるという記事が書かれていました。この省エネ住宅推進は、地元産材を使ってもらうことも認定要件に入っております、当市のふるさと木の香る家・店づくり推進事業とこの取組をセッ

トで進めることが相乗効果を生むものだというふうに考えております。

また、この省エネ住宅の取組は、地元経済の活性化にとどまらず、温室効果ガスの抑制であったり、健康寿命の増進を図られるというふうなデータもございます。こういったことは、本当に市の諸課題に、様々な課題にアプローチしていったる取組だと思います。

ここで、井川副市長にお聞きします。

新聞報道にあった今年度で補助金が終わる方向というお話は、まず、あるのかということ、もしそうだとしたら、事業を継続して課題解決に向け、取組を推進していく、やめるんじゃないかと推進するんじゃないのかなというふうに思いますけど、今の状況をお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

おはようございます。

お答えいたします。

市の事業、特に補助事業については、やはり3年という期限を設けて見直しをさせていただいております。それで一律3年が過ぎたから廃止とかそういうことではなくて、必要な事業については継続をするという形で考えております。

今回の省エネ住宅の補助についてなんですけども、やはり何ていいますかね、高気密・高断熱の住宅を造ることで、省エネ効果を発揮する。それから健康寿命の延伸という話も今、阿部議員のほうからありました。あわせて、地元産材も使用するということで、市の課題に合致した補助だというふうに考えております。基本的には、今廃止するという考えはなくて、これを継続したいというふうに考えております。これから予算要求の中で、また市長とも詰めながら継続の方向で考えていきたいというふうに思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

ありがとうございます。

当市のISSHの取組と同時期に、新潟県でも雪国型ゼロエネルギーハウスZEHの制度化をして、省エネ住宅の普及促進も県も進めています。ISSHの事業と、この県の事業、また、国のほうでも省エネ住宅推進する補助事業がありまして、ISSHの取組は、全ての県の補助だったり国の事業とも併用可能というところが一つ大きいポイントで、これによってその普及効果が大きくなって、市民にも広がっているものだというふうに思います。この事業は、やっぱり地元の家を建てるということは、地元で永住するという、イコールだと思います。この事業は、やっぱり少ない投資で大きな効果というのが生まれるものだと思いますんで、それこそ市長の考える縮充という考え方に合致した事業だと思いますんで、ぜひとも推進をよろしくお願ひしたいと思います。

⑤でございます。親不知ピアパークについてお聞きします。

市長のほうで、観光資源の充実、ピアパークを中心とした観光資源の充実というふうなお話もありますが、市長は具体的にどのようにお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

仲谷青海事務所長。〔青海事務所長 仲谷充史君登壇〕

○青海事務所長（仲谷充史君）

お答えいたします。

市長の回答にもありましたとおり、答弁にもありましたとおり、やはり親不知という知名度を生かしながら、阿部議員おっしゃるとおり、ハード面、ソフト面ともに充実をさせて、西の玄関口としての機能をさらに高めていきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

西の玄関口としての機能を充実させていくということなんですけれども、以前から私も、ピアパーク周辺整備計画の策定をして、進めるべきであるというふうなことを訴えてまいりましたが、今後の計画については、その1年前の質問では、今後の計画についてこれから庁内委員会を開いて、そこで協議していくというお話あったんですけれども、どのような協議があったか、経過と内容と、また今後の、そこで出た今後の方向性というのをお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

仲谷青海事務所長。〔青海事務所長 仲谷充史君登壇〕

○青海事務所長（仲谷充史君）

ご質問にお答えいたします。

庁内委員会につきましては、一昨年、リニューアル庁内検討委員会というのを実施しております。その中では、トイレの老朽化、特にトイレの洋式化ですとか、それから子供向けのスペースの確保が必要ではないか。また、電気自動車の急速充電器というのが今故障しておりますので、そういったものの更新、それから市内施設への回遊性などの検討がされておりました、その整備が課題であるというふうな結論を得ております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

親不知ピアパークのトイレの話ありましたが、3年ほど前の私の一般質問でも、早急に改修しますというようなご回答があったんですけど、いまだに改修はできていないというところでございます。

また、トイレの改修だけすればいいという話ではないというふうにも捉えておりますので、ぜひとも、トイレが重要であるというふうに捉えているのであれば、なおさらこの改修とともにどこまでどうやっていくか、また、親不知ピアパークが糸魚川市にとってどういう道の駅にしたいのか、していくのかというところが重要、特色を出して、どういった人に来てもらう場所にするかと考えるのが重要だと思いますので、そういった観点も含めて、これから進めていっていただきたいというふうに思います。

また、もう一個重要な視点というのが、親不知道路の事業でございます。この建設発生土も非常に重要な課題であり、この発生土をどうやって活用していくかという話もしなきゃいけないという中で、この両方ともてんびんをかけながら、一緒に議論を進めていっていただきたいというふうに思います。

改めてなんですけど、親不知ピアパーク周辺整備計画の策定については、親不知道路の建設発生土の活用と併せて協議を重ねていただきたいと思いますが、どういった方向性の下、協議を進めていくか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

観光行政全般ということになりますので、商工観光課のほうからお答えさせていただきます。

今ほどピアパークについてお話をいただきましたが、昨日もマリンドリーム能生のお話をいただいております。整備計画については、マリンのほうは終わっております、ピアパークは、まだこれからという状況です。

観光客の入り込み数を見ますと、マリンドリームは年間約45万人、ピアパークは20万人。同じく西に青海地域、市振もございますが、市振が5万人ぐらいということになっております。施設の面積や規模について、種類に差はございますが、当市の重要な観光施設にあるのは間違いございません。

親不知ピアパークは、昨今、石拾い、ヒスイ拾いのある意味、聖地的な役割を果たしておると思っております、重要度も大変増しております。まだまだポテンシャルがある施設ということで、市長の公約にもございますが、地域の特性を生かした観光資源の最大化に取り組むべき施設というふうに考えております。

ご指摘の再整備計画については、青海事務所、また観光協会等と協議しまして、令和8年度予算にある程度の方向性が出せるようにしていきたいというふうに考えておりますし、ご指摘の国道8号の整備、親不知道路の関連についても、その計画に合わせて、国土交通省の計画にもよりますが、一部反映できるようなところがあれば、取り入れていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

ありがとうございます。

令和8年の予算で出てくるというようなところもあったので、ぜひ期待しております。よろしくお願いたします。

(4) 子育て支援複合施設について質問させていただきます。

現計画での建設を中止し、整備事業者とは協定等の解約協議を進めるということですが、市長は現計画において、今までの一般質問の答弁の中でのお話も含めてお話ししますが、現計画においてDBOへの建設にはノーを示された。そこに、それに加えて産後ケアや商業施設などの機能が足りていない、クリニック、例えばというお話ありましたが、そういったお答えをされています。

市長に伺いますが、DBOで進めることの何が駄目なのか。駅北に産後ケアや商業施設の機能があると、駅北エリアがどうなっていくのか。また、糸魚川市がどのように発展していくのかというのをお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

まず、私の思いがまずそこにあって、それを公約にして、今、現実的に皆さんにお示ししているという段階であります。

では、私の思いを、4点についてお話しさせていただきます。

1つは、現DBOで一旦それを中止するということにもつながってくると思うんですけども、まずその4点の中に、今のDBOじゃない方法を取りたいという部分でお聞きしていただきたいと思えます。

まず、1点目は、多機能面の本質的な再考をしたい。

基本的に、いわゆる遊戯施設、遊び場というものは、与えられるものではなくて、子供たちの創造性を生かして自ら遊び場をつくっていく汎用性のあるところをしたいという思いがあります。小学校、幼稚園、保育園が、総合学習とか園の行事で創造していく楽しみをそこでつくっていききたい。それを使う動機づけにしたいというのが、一つの多機能面の本質的な再考、子供の創造性をさらに伸ばし、生かしたいという点が一つです。

それと、財政負担の選択が、2つ目です。

これは、先ほどお話あったように保育園の民営化というのがあります。民営化をするということは、そこに運営者が入るということです。そうすると、運営者がその部分の事業が一本化できるという運営費、いわゆるオペレーションの部分が一冊化できる可能性があるということでもあります。

一つは、オペレーションという部分、運営という部分を考えますと、民営化をすることによって、その場所で入園前の、いわゆる相談だとか観察ができるオペレーションに拡充していただける可能性がある。そして、つながりである保育とか就学が期待できるということ。そういう部分の、一つの財政負担の選択という部分で考えられるということです。

3つ目は、やはり私は市民と共につくっていききたい、糸魚川市をつくっていききたい、市民との声で新しい糸魚川をつくっていききたいという部分の前段がありました。参加型のまちづくりへの転換をしたい。3つ目は、参加型のまちづくりに転換をしたい。

市民参加による創造的な場所、ところに、いわゆる解決手段を設けていきたい。それが子供の創造性を伸ばすために皆さん協力してくる協働という部分で、それをつくっていきたいということでもあります。

例えば、前回、私、町なかを歩いていたときに、ヒノキヤさんが、子供のカードゲーム等についての場所の提供をしていただきました。やっぱり餅は餅屋というのがあるんですね。やっぱり糸魚川の本町通り等のDNAというのがあると思うんですね。本来そこにあった思いとか考えとかやり方が、そこにある。餅屋が、餅を作る。餅は、餅屋で作るという例えで言えば、そういうふうな知見を持っている人たちが、そこに参画してくるということが、非常に子供の創造性を高めるんじゃないかと。それが、まちの回遊性とか流動性を高めていくのではないかとという点。だから1か所にとんと置くというよりも、建物を建てるというよりも創造性を育みながら、そこに子供たちを誘導していくという、子育てという部分、そして、保護者もその家族もそこに集ってこれるような形にしたいという点。

4つ目が、未来への責任ある投資だと思うんです。

やっぱり次世代型の公共空間へのシフトチェンジをしていく。市民が、想像力を発揮していく、その町、まちづくりをして育んでいくというエコシステムが、そこにあるという点。この4点を自分の思いとして、公約の中に一旦、DBOにおける施設建設については見直していきたいんだという部分、それをお示ししたということです。

やっぱり建設には時間がかかりますので、いずれにしても、建設整備にしても時間がかかりますので、早くから子育てに対する思いを持っている人たちが、町なかの既存施設を使って早めに対応したいという思いもあります。それには、産後ケア、糸魚川病院の産後ケアの問題もあるし、今、ラ・マドレさんでやっている産後ケアの問題もある。それぞれの特色を生かしていく中に、適所があるのであれば、そこで対応をしていただくという部分。そういう中で、やっぱりまち全体のバランスを考えながら、一つの創造性を持った、回遊性のある環境整備をしたいという部分で、4点について私自身の思いがあったということでございます。

ちょっと長くなりましたけれども、よろしく申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

DBOだとその思いがかなわないというところは、一定数、納得しましたが、駅北に産後ケアや商業施設があるとどうなっていくんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

先ほど言ったように、例えばの話と産後ケアをそこに置くというものは、また産後ケアの、やっぱり事業やっている、オペレーションをしている方がそこにいるわけですので、そういう方とやっぱり意見交換をして、本当にその部分が適所なのかという部分も踏まえて検討しなきゃいけない

と思います。

ただ、いろんな町なかの部分を見ますと、糸魚川市公民館とか、その利用の調整をすることによって、うまく使える状況もある。また、空いてるところにそういうものが入ることができるのであれば、そういうものもある。

また、時代がどんどん変わってきている中で、例えば町なかの一等地の酒井書店さんが閉じてしまった。でもそういう部分、書店としての何となく機能がそこにあるのであれば、そこに子供用の書籍を置いて、そこに集える場所に間借りするとかということも、案外、順次膨らんでくると思うんですね。その膨らんでくる案をやっぱり大事にしたいという部分もあります。できる、できないは、やっぱりそういう部分で、その案に対して対応してくれる事業者、または市民の皆さんがいれば可能になっていくのではないかと。そういう部分は、多分、皆さんもそういう思いを持って町なかの再生とかいうものに取り組んでおられるということも、私自身考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

じゃ、中止というふうにおっしゃいましたけど、具体的にこういうふうにしていくんだというイメージはないということではよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

イメージは、きちっと担当課のほうには伝えてあります。

ただ、担当課として事業立てをする。また、整備計画を見直す中の予算組みだとか申請の部分がありますので、その部分については、担当課が丁寧に作業を進める。具体的なイメージは、私自身持って、指示はしてございます。ないということはありません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

今、汎用性のあるところに切り替えてるということなんですけれども、本当に急なお話だったなというふうにも受け止めてますし、やっぱりある程度中止するというのであれば、やっぱり代替案というのもしっかりお示しいただきたいというのが、私の今の感覚なんですけれども、具体的な代替案というのは、いつになったらお示しできるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

今ほど市長答弁された部分を踏まえながら、今、こども課のほうで内容のほうは検討させていただいております。具体的な部分につきましては、9月定例会ぐらいをめどにはお示ししていきたいと今は考えているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

9月定例会に示して、あのスケジュール感でいくと9月定例会に示して、10月、11月でタウンミーティングをやって、12月で議会として承認して、国への計画変更というようなイメージなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

予定としては、今議員おっしゃったような予定で進めていきたいと考えているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

間に合いますかね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

非常に期間的にはタイトな中での作業となりますけれども、間に合わせるように努めていきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

今まで建設に反対だった声というのが、主に聞かれていたというような捉え方だと思うんですけども、ここに来て建設賛成派が、何でなくなるんだというようなお話も届いております。そうなったときに、タウンミーティングをやったときに、今まで、要は、やるのに問題ないから意見を言わなかったって人がいると思うんです。分かりますかね、今の計画のまま納得してるから意見はないという人が。要は逆が現れたってことですよね。今のこの判断に納得がいけないから意見を言って、届いているところがあります。このタウンミーティングで、例えばですけど、例えばのお話しますけど、タウンミーティングでなんで中止にしたんだ、何でこのままの計画でいけないんだという声が多かった場合、どうされるんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

まず、私がさっき4点についてお示しした部分をきちっと説明をすべきだと思っております。その中で、私は子育て支援、複合ができる施設、場所については、全く否定感はありません。それで、今言ったように時代が変化していく中で、やっぱりオペレーションが2つあるんじゃないかと1つにまとめられるものもありますよという、やっぱりそういう部分もある。そういう部分を説明しながら、今あそこの駅北の部分の整備計画についてはこういう案でいかがでしょうかという部分は、お示ししていく。それについてご理解をしていただけるようにしていきたいと思っております。

私が、皆さんの声をお聞きした一方的な部分ではなくて、当然造ってほしいという方々のお話もあります。

ただ、私自身が置かれた立場において、お聞きする中では、再考してほしいという部分で、お聞きした中で私自身の公約という形に進めていったということでございますので、それについては市民の皆さんが判断したという部分から、今回4月24日からスタートしてるということもご理解していただきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

また後ほど、その市民の判断という言葉をちょっとお借りしながら進めたいと思っておりますけど、まず、ちょっとここ聞きたいんでお聞きします。

角地の活用を含めた検討というのを、駅北のあのエリアで、角地も含めた検討というお話ありましたけど、角地というのはどこを指すのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

角地というのは、今回提案していた宮田ビルから旧東北電力ビル、丸仁さんのビルと、もう一つ

は、山呉さんのお建物がありません。そこの一角を角地というふうにして私、交渉したということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

じゃ、もう交渉されてるんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

まだ交渉はしていませんけれども、山呉さんのところについては交渉はしていませんけれども、山呉さんからの話は聞いておりますけれども、有効的な活用をすることについての相談には乗りたいということはお聞きしてはおりますけれども、それを具体的な交渉には入っていません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

先ほどの話にちょっと戻るんですけど、12月の申請に絶対間に合わせなきゃいけないということで、計画変更を考えてるであったり、例えばこっちにまだ示せないお考えというのは、国のほうとはしっかり協議できて、その担保は取れるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

これまでに県のほうとは、お話をさせていただいている経過がございます。国のほうに直接はお話はしていません。

ただ、もともと今回この国の交付金を受けるに当たってというところでは、子育て支援に資すると、子育ての満足度の向上といったところが大きな目的となって今回の計画申請をさせていただいておりますので、そちらの部分をぶらさないような形で申請のほうはまとめて、国の補助のほうも維持できるような形で検討していきたいというところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

検討していきたいではなくて、本当に大丈夫かどうかというところをちょっと伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

先ほどお話ししたとおり、今回の国への交付金の交付申請の目的に合致した内容での事業評価ができるといった形にしっかりとまとめていきたいというところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

仮に、何ができるかちょっとあれですけど、公園なり広場なりみたいなお話もあった中で、市長のほうで再整備計画も進めていきたいというようなお話、再整備というようなお話あったかと思うんですけども、その再整備というのは、今の東北電力ビルと宮田ビルとその角地も含めたという話だったんで、そこを解体したところの、要は、例えば公園なりにした場所を再整備するというお考えなのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

まず1点は、市が計画している部分については、今回、東北電力ビルの解体、そして宮田ビルの解体があります。

もう一つは、丸仁さんのビルは、私有地、私物件でありますので、そこについての再整備計画は、今後、民間なりとの話になっていくのではないかと思います。そこに、今後の再整備計画に資するものがあれば、計画は、今度、別途の計画を進めなきゃならないと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

解体した跡地で考えてるのかということをお聞きしています。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。

○市長（久保田郁夫君）

それは、もう一度……。

○議長（古畑浩一君）

暫時休憩。

〈午前11時06分 休憩〉

〈午前11時06分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

先ほどお話ししましたとおり、宮田ビルを含めた部分の解体については、今回新しい整備計画、いわゆる室橋課長が言われるように子育てに資するような整備計画、で私がさっきお示ししました4点を持った整備計画をもって、そこは行いたいということであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

要は、仮に公園とします、じゃ。仮に公園に整備にしますとしたときに、何が言いたいかというのは、宮田ビルを壊して、今回の予算で、今回の予算というか今回は宮田ビルと東北電力ビルを解体します。それで公園機能にいたします。これからは、角地の活用も含めて再整備計画を考えると、いうふうに捉えているので、何を言いたいかって、要は公園、例えばですけど公園となったときに、公園整備での今回の計画での解体を認められてるのに、その上に新たな計画で何かをするということは、例えば補助金の返還も求められたりするんじゃないかなというふうに思っているんですけどいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

今、新たな形で、建物の建設は中止したところの計画地、要は旧東北電力ビルと宮田ビルの土地につきましては市の所有地でございますので、そちらについての計画というのは先ほどお話ししたとおり、9月議会をめぐりにお示ししたいと考えておりますけれども、そうでない東北電力の隣の民間の二つのビルの部分につきましては、市としては現在の段階で、すぐに計画があるといったものではございませんので、そちらについてまで含めて計画していくという部分については、民間の方が関わってくることでございますので、将来的には考えられないこともないかとは思っておりますが、現時

点ですぐにということではないというふうに理解をしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

仮に10年後に民間の土地も活用して、そこに何かをやりますといったときに、例えば大きいもの、例えばですけど大きいものができるときに東北電力ビルの上にもかかたりする場合、その補助金の返還、要は用途変更なわけじゃないですか、理解が違いますかね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

例えば将来的に今、阿部議員言われるような形で1回整備した部分につきまして、どうしても市のほうで用途変更をしていきたいというような事情が生じて変えていくというようなことになった場合には、おっしゃられるとおり補助金の返還という可能性は出てくることもあるかと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

すいません、なかなか絵が見えてこないんで、もう口頭での会話になるとあれなんで、9月議会に上がってくるってことなので、なるべく、なるべくというか、もう計画変更の申請ですので、承知しました。

子育て支援複合施設のこの計画については、総合計画にも示されているものです。今まで様々な議論があって、賛否はあったものの、建設をすることで議決を経てきております。

また、令和7年度3月議会では、施設の建設見直しを求める発議もございましたが、賛成少数で否決されております。現時点では、議会の意見としては、建設継続の方針であるというふうに認識しております。

このことから、市長からの中止の判断だけで、建設中止や契約の解除をするということは可能なのか。議会の採決を経て、中止を承認することを諮るべきなんじゃないかなというふうに思っております。議会の承認もないままこの計画を中止することは可能なんでしょうか。

また、もしそれが問題ないというのであれば、その根拠を議会にお示しいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

議会の議決ということで、今回のこれまでのDBOでの計画についての議会の議決ということで申し上げますと、債務負担行為の議決をいただいたということが議会の議決ということであったというふうに思っております。

債務負担行為につきましては、その範囲内で執行する可能性があるといったところでの議決というふうに理解しておりますので、実際の執行に当たっては、また、個別に予算といった形で提案させていただいて、議会のほうからお認めいただくという手順になっていくというのが事務的にはなっているかというふうに思っております。

このたび、4月の選挙におきまして、市長、久保田市長が当選されたということで、初日の議会のときに副市長のほうからも答弁がありましたけれども、その民意を踏まえた中で、今市長の意向を踏まえて、こういった形で建設中止というようなことで事務のほうは進めさせていただいているといったところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

民意というお話ありましたけれども、仮に議会と、要は市政の進め方として問題ないとしても、これだけ大きい事案ですので、ある程度、今、市長の考えている案を認めるか認めないかというものを諮るべきじゃないかなと思いますけど、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

今の現時点で、その計画地の代替の計画というのは明確にお示しすることはできませんけれども、市長が答弁されたように、今後しっかりとそこの部分の内容を詰めた中で、議会のほうにもお示しをさせていただき、ご判断いただくことになろうかというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

じゃ、問題ないというふうに捉えているということで。我々も選挙があつて、選ばれてきているんですけども、賛成派のほうで、今の議会で、だから今の議会でやっぱり諮るべきかなと思いますし、今回、行政からの一方的な解約であるというふうに捉えていますが、契約条項には、行政都

合による契約解除という明記はあったのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

行政都合によるということでの明確な規定はございませんけれども、契約解除に関わる条文がございますので、そういったものに基づきまして、今、契約解除の協議を進めさせていただいているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

後は、特別委員会でやらせていただきます。

ありがとうございました。

○議長（古畑浩一君）

以上で、阿部議員の一般質問が終わりました。

11時30分まで休憩といたします。

〈午前11時15分 休憩〉

〈午前11時30分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、渡辺栄一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。〔4番 渡辺栄一君登壇〕

○4番（渡辺栄一君）

渡辺栄一でございます。

2期目に当たりまして、糸魚川市内での暮らしやすさ、住みやすさを思い描きながら、市民の皆様方をはじめ、いろいろな方々のお知恵を賜りながら、稼げるまち、人口増を目指し、活動することで、当市の翠の交流都市、さわやか、すこやか、輝きのまちへ寄与してまいりたいと存じております。引き続きよろしくお願いたします。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、新市長の市政全般の抱負と見通しについて。